



★最優秀賞『白石の祭』山本隆太さん（白石区） 撮影場所／白石神社 ★

講評：白石神社の祭りで見こしを担ぐ男たちの力強さを感じ、掛け声が聞こえてくるようなダイナミックな写真です。未来への夢を託し、親から子に伝える伝統ある祭り風景をローアングルで人情豊かに表現した素晴らしい作品です。

ん、優秀賞に選ばれたえとびりか（投稿名）さん、西澤直樹さん、佐々木桂子さんの計4人に、宮川区長が表彰楯を手渡しました。



▲ガラス製表彰楯を手に。左から佐々木さん、西澤さん、区長、山本さん、えとびりかさん。

最優秀賞を受賞して



▲「いつもカメラを歩いています」
と山本さん

妻の勧めで応募しました。が、受賞はまさに青天の霹靂。とてもうれしいです。

白石で生まれ育った私の「しろいしな風景」は、真つ先に「白石神社祭」が頭に浮かびました。

この写真は、みこしを一生懸命に担ぐ勇壮な男たちの姿を何とか表現しようと撮ったものです。

審査員総評



上村孝幸さん（写真家）

1952年生まれ。札幌市在住。広告写真を中心に幅広い撮影ジャンルにて国内外で活躍。アマチュア写真家の育成と技術力向上にも情熱を注ぐ。
 (株)日本広告写真家協会正会員、日本写真家ユニオン会員、日本写真芸術作家協会会員、NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク会員
 (株)ウエムラスタジオ代表取締役

時代はアナログからデジタルに移り行き、簡単に写真を楽しめるようになりました。今回は、技術を駆使したもののや何度も同じ場所に通って撮影されたものなどバラエティー豊かな作品が集まり、視線や角度、季節が変わることで見慣れた風景が違って見え、新たな発見ができたことが印象的でした。

また白石区は、円やアーチなど丸みを帯びた建造物が多く見られる芸術的な街で、美しくもエネルギー感で人情豊かな街であることを審査を通じて再発見できました。誰しも美しいものに感動し心奪われます。時間帯が違うだけで見え方が変わることが多くあります！写真の目を持って再発見してみてください。

※各作品の講評は上村さんをお願いしました。